

令和7年度

第2回 大垣市学校給食センター運営委員会 会議録

(令和8年3月23日 (月))

令和7年度 第2回 大垣市学校給食センター運営委員会を、令和8年3月23日（月）市役所6階教育委員会室において開催した。

その次第は次のとおりである。

議題 議第1号 令和8年度 大垣市学校給食費会計予算（案）について  
議第2号 大垣市学校給食の献立方針及び主な事業について

報告事項 (1) 学校給食費会計の収支見通しについて  
(2) 「全国学校給食週間」パネル展について  
(3) 「大垣市×SDGsお化け」イートミーバスターズ献立について  
(4) 「大垣市×SDGsお化け」イートミーの啓発について

本日の委員の出席者は次のとおりである。

#### 出席委員

豊田 富士人 河野 芳功（代理 中村 成寿）  
山本 稚香子 栞山 一嘉 後藤 奈嘉子 渡邊 友三郎  
杉本 めぐみ 堀 哲也 神谷 憲一

本日の大垣市学校給食センター運営委員会の出席者は次のとおりである。

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 教育委員会教育長        | 細江 敦  |
| 教育委員会事務局長       | 馬淵 義昭 |
| 南部・北部学校給食センター所長 | 高橋 祐真 |
| 南部学校給食センター主幹    | 林 隆司  |
| 北部学校給食センター主幹    | 橋本 敦  |
| 北部学校給食センター栄養教諭  | 古田 幸代 |

欠席者 教育委員会教育長 細江 敦

（開始時刻 16時00分）

## 令和7年度 第2回 大垣市学校給食センター運営委員会会議録

事務局

皆様、こんにちは。

本日は、大変、お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。  
ございます。

〇〇委員と□□委員がまたお見えになっておられませんが、定刻になりましたので、ただいまから、令和7年度 第2回 大垣市学校給食センター運営委員会を開会いたします。

開会にあたりまして、教育委員会事務局長がごあいさつ申し上げます。

事務局長

〈あいさつ〉

事務局

ありがとうございました。

続きまして、本日ご出席いただいております皆様のご紹介でございますが、時間の都合上、お手元にお配りさせていただいております座席表を持ちましてご紹介に替えさせていただきたいと存じます。

議事に入ります前に、本会議の成立について、ご報告させていただきます。

本日は、代理出席を含め8名の出席をいただいております。大垣市学校給食センター運営委員会設置条例第6条第2項に規定されております過半数以上の出席要件を満たしておりますので、本会が成立していることを報告させていただきます。

本日の会議は公開とさせていただきますが、傍聴人はございません。

それでは、議事に入らせていただきます。

ここからの議事進行につきましては会長にお願いいたします。

会長

それでは、議案の審議について進めさせていただきます。

はじめに、本日の会議録署名者を私の方から指名させていただきます。

会議録署名者には、小学校PTA代表の後藤 奈嘉子様、給食主任担当校長の杉本 めぐみ様、よろしくお願いたします。

次に、「議第1号 令和8年度 大垣市学校給食費会計予算（案）について」を議題とさせていただきます。

事務局から説明をお願いします。

事務局

〈説明〉

会長

ありがとうございました。

ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。

委員

小学校の保護者負担については、国などが負担していただけるとご説明

いただきましたが、小学校だけという理解でよいでしょうか。

事務局 現在、国では、小学校給食費について基本額5,200円を各自治体へ支給することで動いておりまして、中学校については、まだ検討の段階にいたっていない状況です。

本市としては、中学校について、850円の料金改定による増額分を公費負担し、これまでどおりで、料金改定前と保護者負担は変わらないということになります。

委員 中学校ではお金のかかる保護者が多いため、小学校だけでなく中学校についても声をあげていただくとありがたいと思います。

事務局 全国市長会を通じて、小学校の無償化の次は中学校も早急に対応していただくよう要望している所でございます。

会長 補足をさせていただきますが、「無償化、無償化」と言いますが、完全に無償化ではないんですよね。国は「いわゆる無償化」と言い換えられているんですよね。

「無償化」ということであれば、本来は全額国に負担していただかないといけない。また、「負担軽減」ということであれば、保護者の方にご負担いただくということになります。

メディアの中でも、完全無償化のような言い方をされるのですが、全国的にも議論になっています。

一方、給食がないところは税の不公平感があり、今後の課題として残っています。

小学校に対して5,200円が入ってきますが、大垣市の小学校の給食費は5,750円で、差額の550円は、令和8年度は地方創生臨時交付金、いわゆる物価高対策というのが充てることができますので、実質無償化を達成できております。

中学校の方は国からの支援がないのですが、こちら物価上昇の緊急対策ということがあるので、850円を充てて、残りの分を保護者の方に負担いただくということです。

事務局 国は、給食費と5,200円の負担軽減との差額分について、保護者の負担と考えています。そうした中で、令和8年度だけは臨時交付金を活用させていただいているところです。

会長 メディアの発表についてもわかりにくくて、途中で言い方を変えたのですよね。

ただ、我々としても政府としての完全無償化をお願いしている。その一方で、税金の公平性というところで受益者負担の原則があって、利益を受

ける者が負担するという原則なのです。

例えば、水道料金はたくさん使う人とそうでない人がいて、たくさん使う人はたくさん料金を支払う仕組みになっています。

給食も必要とする人とそうでない人がいる。それを全額税金で負担することはどうなのかという考えがあり、せめて材料費についてはご負担いただくというスタンスです。

これを市の施策で給食費を無償化するとすると、市民の皆様がご理解いただけるかどうか。

それなら福祉の方を手厚くしてほしい、教育施設の方を重視してほしいなどのご意見がある中で、ほかの自治体が無償化しているのに、何故大垣市はできないのかということをよく言われますが、それぞれの市町でいろいろな事業があります。

やはり、原則は受益者負担ということで、給食費を負担する必要がない人にとって税金を使うことにご理解をいただけるかということ各市町が判断していくことは大変なことです。

給食費についても各県でばらつきがあり、基本額以上のところもあれば、それ以下のところもある。そういうところは余ってしまっただけで平等ではなくなってしまう。

やるのであれば、一律に無償化するのが本来ではないかということです。

委員

それもありますが、それを言うならそもそも国会議員や官僚といったところに人数など無駄な税金が相当使われているのではないかという不満があります。

会長

それでは、お諮りいたします。

「議第1号 令和8年度 大垣市学校給食費会計予算（案）について」は原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

委員

（「異議なし」の声あり）

会長

ありがとうございます。

それでは、原案のとおり承認させていただきます。

次に、「議第2号 大垣市学校給食の献立方針及び主な事業について」を議題とさせていただきます。

事務局から説明をお願いします。

事務局

〈説明〉

会長

ありがとうございました。

ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。

委員 中学生学校給食選手権や私が考える学校給食メニューコンクールは、授業の一環として行われるのでしょうか。

事務局 私が考えた学校給食メニューコンクールは夏休みの課題として取り組まれ、中学生学校給食選手権は学校の取り組みとして応募いただいているところでございます。

委員 中学生学校給食選手権の方は、授業の一環ではないという理解でよいでしょうか。

事務局 中学生学校給食選手権は、小学校の家庭科から給食の時間などで学んだことと中学校の家庭科の教科の中で学んだことを生かし、子どもたちが一食分の献立を考えるという内容でございます。

ただ、授業としてはなかなか取り組む時間がないので、給食の時間に中学生に放送をかけながら、募集をして、夏休みの課題として取り組んでもらっているというものです。

また、私が考えた学校給食メニューコンクールは、コンクールのメニューを考えるための授業ではないのですが、小学6年生が学級活動の時間に、地場産物について学んだことを活かし、夏休みの課題として取り組んでみよう働きかけをすることによって、小学6年生の応募件数が年々増えております。

委員 中学生学校給食選手権で、生徒の献立考案の支援とありますが、どのようなことでしょうか。

事務局 中学校で3年間、中学生学校給食選手権に携わらせていただいておりますが、夏休みに子ども達が考えてきたメニューを学校として1件しか提出することができません。

そこで、審査条件として、学校給食として提供できるか、給食費はどうかということでもありますので、子どもたちにこのようにすると給食に取り入れられるとか、ここをこうするともっと良くなるのではなかというアドバイスをし、良い献立にして応募しているということです。

委員 献立方針及び指針のところですが、安全性の高い食材を使用するとありますが、安全性の高い食材を選ぶ基準というのがわからないので、具体的にはどのようなことなのでしょう。

事務局 できるだけ地域のものが使えるのが一番いいのですが、大垣市の1万食規模ではなかなか揃わないということもありますので、大垣市産あるいは岐阜県産を優先し、次に国産を使わせていただいております。

しかし、外国産を使わなければならないこともありますので、食品成分表や検査証などで確認し使用しております。

また、加工品につきましては、外国で加工されたものでなく、国内で加工されたものを選定しております。

食品に含まれる成分につきましては、保存料ができるだけ少ないものを選定しております。また、アレルギーにも配慮できるようにということで、大垣市ではアレルギー対応の給食は提供しておりませんが、例えばカレーであるとか小麦粉が入っているカレーが市販ではたくさんありますが、小麦粉があると食べることができない子もいますので、小麦粉がないアレルギーフリーのカレーを使うということで、できるだけ子ども達に食べていただけるように配慮をしております。食材の選定にはできるだけアレルギーが少ないものを選定するよう工夫しております。

会長 表示義務などがある28品目以外でも使用していない食材などがあつたと思いますが、何でしたでしょうか。

事務局 ショートニングと記憶しております。

委員 以前、鶏肉をブラジル産にしましたというお話があつたと思いますが、国産にしていきたいです。

事務局 鳥インフルエンザの影響で、どうしても国産の鶏肉が調達できないことがあり、当面の間、ブラジル産の鶏肉を使っておりましたが、現在は国産の鶏肉を使っております。

委員 有機野菜が少しずつ増えてきていると思いますが、大きさや形などにむらがあり、作ったけど買ってくれないものを給食用の食材として買い取ってもらえれば、安全性も問題ないと思います。月に1回でも有機の食材を使った給食を提供していただけるとありがたいと思います。

また、有機でないものでも規格外で売ることができない野菜もたくさん出るみたいですよ。

スーパーなどでは規格がきびしいので、大きすぎたり小さすぎたり、少しでも傷がついていると買い取ってもらえない、食べられるのにもったいないなあと思っています。

これから食材も上がってくると思いますので、こういった野菜などを有効に引き取って使える仕組みを作っていただくと、SDGsにもつながっていくと思いますので、要望としてお願いいたします。

事務局 1万食以上の学校給食を提供していく中で、有機野菜の活用などにつきましては、大変難しい状況であることはご理解いただきたいと思いますが、今後の課題となってくると思いますので、ご意見として受け止めさせていただきます。

会長 献立方針などについては、昨年度と変わっている所があると思われるの

で、その点について強調して説明をしてください。

事務局 栄養教諭の先生方に確認をいただいておりますが、昨年度と変わったところは特にございません。

基本的には、毎年同じ様になっております。

会長 実績としては、どのような感じですか。

事務局 計画どおり、ほぼ達成している状況です。

委員 以前、鶏肉がブラジル産を使用している案内がありました。

保護者の皆さんは、まだブラジル産をつかっていると思っている人もいますので、国産に戻したことなど、安全なものと使っていることお知らせしていただければありがたいです。

会長 政策で鶏舎の鶏は鳥インフルエンザになると全部処分されてしまう。

そうすると、ますます国産での調達ができなくなってしまうということがあります。

委員 そういった農業生産のことを知っていただくと大変ありがたいと思います。

事務局 また、検討させていただきます。

委員 献立を作る話になりますが、残飯はどれくらいでているかというのは、どこかでわかりますか。

事務局 残飯につきましては、毎日統計をとっております。

今その資料は手持ちあわせておりませんが、メニューによって1日の量が違いますので、月ごとに集計をしております。

委員 わかりました。

会長 栄養教諭の先生として、何か補足等ありませんか。

事務局 給食というのは10人いて10人がみんなこれが好きという献立はないですし、食の体験をしてもらうということも多々あります。

学校の給食時間に訪問させていただくと、低学年だと初めて給食を食べたよというようなことがあり、それが続いていくことで、去年までは食べられなかったけど、今年はおいしく食べられるようになってきたよというような子たちがいます。

みんなが好きなものを出せば残すこともなくなりますし、SDGsにもつながると思いますが、家庭では食べられないものもあるので食体験として提供していければと思っております。

そのため、残飯としてどうしても多くなる日もあり、一生懸命食べたけど残してしまっておめんなさいと思いつつ残している子ども達も中にはいるのが現状です。

できるだけ子どもたちが美味しいな、食べてみたいなと思ってもらえるように、栄養教諭は大垣市に5名おりますが、それぞれ担当する学校の給食の時間に足を運ばせていただきながら、実態を把握して、献立作成に取り組んでおります。

会長 それでは、特に、ご発言もないようですので、「議第2号 大垣市学校給食の献立方針及び主な事業について」は原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

委員 （「異議なし」の声あり）

会長 ありがとうございます。

それでは、原案のとおり承認させていただきます。

以上で、議案の審議を終了させていただきます。

皆様には、円滑な議事の進行にご協力いただきまして感謝申し上げます。

以降の進行につきましては、事務局でお願いします。

事務局 ありがとうございます。

それでは、以降につきましては、事務局で進めさせていただきます。

5 報告事項について、事務局からご説明申し上げます。

事務局 〈説明〉

事務局 「報告事項」につきまして、ご意見・ご質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。

委員 「資料No.3」についての質問ですが、「大垣市×SDGsお化けバスターズ」と「イートミーチーム」についてですが、構成メンバーには子どもたちが入っているのでしょうか。

事務局 「大垣市×SDGsお化け」ですが、令和6年度に6体、7年度に5体、子ども達が考えたお化けが選ばれました。

その中で、最初の6体の中から、子どもたちが主体となって、何かに対して自分たちが課題解決できるかということで選ばれたのが、フードロスを課題とした「イートミー」とごみ問題を課題とした「コイバー」です。

令和7年度に子ども達が課題解決に向け、それぞれのチームに分かれて取り組みをしました。

「イートミー」チームは残菜を少なくするように、教育委員会の職員も手伝いながら、給食の献立を子どもたちが考えたのが、この3つのメニューになります。

委員 これを提供された、子ども達の感想などはどうだったでしょうか。

事務局 メニューが提供された日に、子どもたちの様子などを先生に伺いまし

た。

まず、「バ!ヤシライス」につきましては、子どもたちはハヤシライスが好きな子が多いうえで、きのこも小さく切っているため、普段はきのこを残す子も食べていたとのことでした。

2つ目の「魚魚! (ギョギョ) とつみれ汁」につきましては、肉団子は食べられるから、魚を肉団子風の「つみれ」にしたメニューです。イワシのすり身のため、魚独特のおいがあり、食べることでできない子もいたようですが、普段は魚を残す子も食べていたと聞いております。

3つ目の「ほくほくころたん (里芋コロッケ)」につきましては、子ども達が好きなコロッケの中の具材として入れることで食べることができたようです。

いずれのメニューも単独で提供された場合などよりも残菜は少なかったと、先生方から感想を伺っております。

委員 　　今回は3か月間だけでしたけど、子ども達がせっかく作ってくれたメニューですので、給食で取り入れていただければ、何回か出していただけますよね。

事務局 　　そのように考えております。

委員 　　「全国学校給食週間のパネル展」ですが、イオンモールの2階で展示されたとのことですが、イオンモールに行く習慣のある人でしたら見に行く人もあると思いますが、そうでない人はわざわざ見に来られないので、もったいないなあと思いました。

　　今はデジタルの時代なので、ほかに何かの方法で発信できるのと思いました。

　　給食の理解と関心を高めるということであれば、給食週間の前に、学校経由で、保護者の方の思い出のメニューやもう一度食べてみたいメニュー、子ども達には好きなメニューを3つずつ出してもらい、集計結果を公表したりしたら、みんなは何が食べたいのか、何が良かったのかなど気になると思うので、ここで展示するのも良いですし、何らかの形で配布などしていただくと反応も全然違ったものになってくると思います。

　　あと、栄養教諭さんがいろいろ回って活動していただいているとお聞きしましたが、実際に調理している現場を実習や職場体験で見ている人はいいですが、ほとんどの方がどういうふうに使っているのかご存じないと思いますので、何か動画を撮ってそれを給食の時間に残飯の多い月とかに月に1回ずつとか流してはどうでしょうか。

　　午前中で調理は終わっているのですが、それを撮って食べるのときに見ると、

子ども達がそれを見て食べたら、とても興味を持つし、食べる意欲もわいてくると思いますので、そういったことをやっていただいても良いのでなないかと思いました。

事務局 アンケートなどは参考にさせていただきます。

給食の中の調理の状況ですが、ユーチューブで大垣ケーブルテレビが撮影した動画がありまして、細かく調理しているところが出ております。

委員 わざわざ検索しに行くのではなくで、先日も環境フェスティバルを見に行きましたが、車の展示だけでなく、動画のQRコードを置いておくとか実際の調理の様子が見られる工夫をされても良いと思いますし、もし、調理用の大きな釜が持ち運びは難しいかもしれませんが、リアリティが伝わるような感じだとすごく良いと思いました。

例えばイベントなんかでは、小さいショベルカーでボールを掬ったりするものがありますが、鍋と同じ大きさの大きなビニールプールなんかで、実際に調理に使用するひしゃく等でボールを掬ったりするなど、実施の規模間がわかるようなものを用意して、子ども達が遊んだりできると楽しいですね。

会長 展示についてですが、もっと見に来ていただけるような展示の仕方の工夫をしていただきたい。

他の部署でもそういったことがあるので、注意してください。

事務局 今後、注意して参ります。

展示の方法などにつきましては、いただきましたご意見を参考とさせていただきます。

事務局 それでは、特にご発言もありませんので、本日の議事は以上でございます。

その他、全体を通して何かご発言はございますでしょうか。

委員 最後になりますが、この2年間、学校給食センター運営委員会の委員をさせていただきました。初めての会議の時に、給食の無償化はならないのですかと質問したことを覚えております。

いろいろとお話を聞いて、学校給食法で保護者の負担が原則だよ、学校給食法で定められていますよということとか、給食を作るうえで生産者さんのお話などがありました。

飛騨地区では製麺業が廃業されて、遠い地区から運ばなければならなくなったお話とか、会計監査にも携わらせていただきましたが、地域のことを地域の業者から使うようにされていることを考えたとき、やはりその安心と安全を保障するためには、お金はかかるし、それを作ってくださいる生

産者の方々のその経営とかも守っていかないと結局給食が提供されなくなってしまうという一連の流れというのでしょうか、物価が高くなるから給食費が上がるし、家計を逼迫するという手前のことだけでなく、さらに広い範囲で仕組を考えられたことはすごく良い機会だったと思っております。たくさん学ばせていただきましたし、知ることもできましたのも、ここに出席したからだと思っております。

それを、なるべく私は自分の学校の保護者の皆さんにお話しできる機会にはお話しするようにして、給食試食会を計画させていただいたとき、栄養教諭の方のお話と調理機器と動画を流しながら、どういうふうに作っていけば、その野菜のカットの仕方から、その揚物がどうやって上がっていくのか、その中でどうなって給食センターの中の調理員さんや栄養教諭の方がかかわっておられるのかという工夫を紹介されたとき、保護者の皆さんからすごい感嘆の声が上がって大好評でした。

来年はPTAの規模が縮小していくという残念なことはありますが、給食試食会は続けていきたいのと、もっと保護者の皆さんに知ってもらいたいし、子ども達にも知ってもらいたいとの声も上がっていました。

考えるお時間をいただけたことに感謝しております。

あと、学校の給食時間が凄く短いという意見が保護者の方から聞いております。先ほどの残飯のことにつながるとは思いますが、食べたいのに時間の関係でおかわりが食べられないから残飯になってしまうとか、時間がなく残すしかないから、食材をみてどれを食べるか調整しているようです。

周りの子がたべているから、自分もちょっと食べてみようかなというような時間がいると思います。

時間がないと、好きなものだけ食べて嫌いなものは残して給食を終わってしまうところを、食文化や味を楽しみながら体験することはとても大切なことだと思いますので、何とか給食の時間を少しでも確保できると良いなと思っております。

ありがとうございました。

事務局

貴重なご意見をありがとうございました。

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了とさせていただきます。

本日は、ご出席いただきましてありがとうございました。

〈17時10分 終了〉